


昭和 45 年 11 月 1 日

横芝町の人口と世帯

< 9 月 30 日 現在 >

人 口	12,395 人
男	5,908 人
女	6,487 人
世 帯 数	2,908 戸



横芝

広報

発行所
山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17



成人学校開講

される

四二〇名が参加して

広報九月号で成人学校発足のお知らせをしましたが、より開始されました。受講生の成人学校が九月二十五日から横芝町中央公民館の主催に

一スにおよぶ講座は、若いものも入るようになって、非常にのたのしいものです。田中館長も開校からこの一月は、各学級開設のとりもち役におおわらわで、うれしい悲鳴をあげていました。また、受講生も教室に入ってびくくり、「やあこれはこれは、隣のご主人ですか、よろしく」などという場面も見られました。この盛況に力を得て公民館では、

第二回の成人学校開講の準備のため広く町民の要望調査なども行ない、より充実した講座を開講して行くそうです。

第二回成人学校は明春早々に開講する計画で、第一回以上の規模にしたいと張り切っています。

みなさんのご参加をお待ちしています。

国調集計終る

人口は一、一五〇人

十月一日を期して全国一斉に実施された国勢調査がこのほどまとまりました。調査員の方々ははじめ、町民各位に御協力をいただきありがとうございました。調査結果は次のとおりです。

男 五、七五九人
女 六、三九一人
世帯数 二、九〇六戸

※この結果は町要計表による概数であり、後日総理府統計局で公表する数と異なる場合があります。

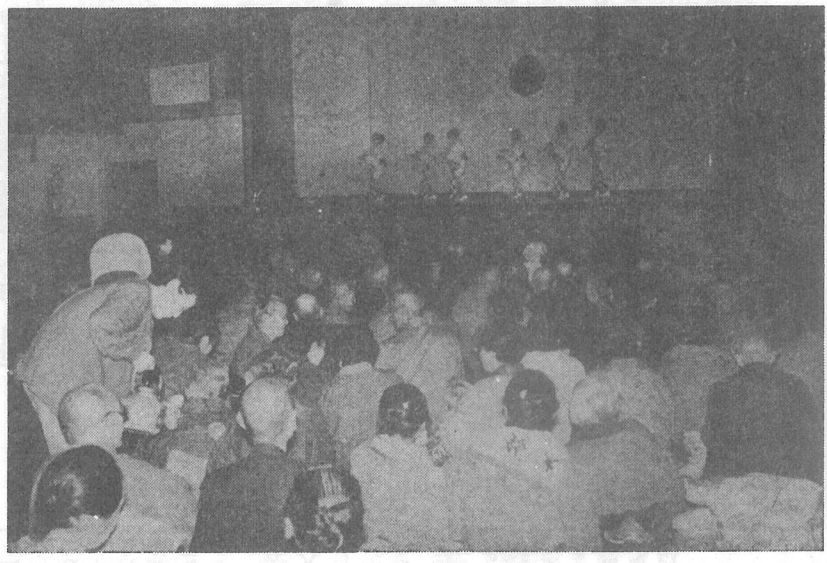


秋の火災予防運動はじまる

今年も十一月二十六日から十二月二日まで、秋の火災予防運動が実施されます。寒さがきびきびするにつれ、火気を使う機会も多くなります。そのうえ空気が乾燥し、非常に火災が起りやすい状態になります。ちょっとした不注意から火災を起し、大切な家財を失なうばかりか、ときには人の生命までも奪われることがあります。火事はすべからずの財産を灰にしてしまう恐ろしい災害であることは、誰でも知っていることですが、火気の取扱いは素外注意を怠りがちです。私たち一人一人が火の元に充分注意し、火災を未然に防ぎたいものです。最近石油やプロパンガスが普及して、炊事から暖房まで、殆どどの家庭で使われています。石油やガスボンベの置き場所の選定、コンロやストーブの故障、ガス導管の破損の有無の点検、寝る前に元栓を閉めるなどの安全確認、また、たばこの不始末も火災の大きな原因です。吸いながらの投げすて禁止、寝たばこの防止などは厳重にまもりましょう。

また、戸外で火気を使う時は誰かが必ずそばにいて、残り火は完全に消しましょう。また、火災の発生原因の最も多い子供の火遊びは絶対にさせないように注意しましょう。

長寿を祝い 敬老会開催



中学校体育館を会場に、十月十七日、七十以上の高令者七九七名を招待して、恒例の敬老会が開催された。あいにくの雨のため招待者の出席が危ぶまれたが、主催者側の用意したバスにたすけられ、参加者は四百人あまりにおよ

んだ。午前十時、福祉協議会長伊東巖さんの挨拶について、椎名町長の式辞があり、八十五才以上の高令者五十九名に記念品が送られ、金婚式を向えた十九組のご夫妻に千葉県知事から記念色紙が送られた。

- このあと来賓の祝辞、高令者謝辞などがあって式を終り、いよいよ本番の慰安演奏にうつり、三地区保育所のかわいのお孫さん達の踊りや婦人会の舞踊などを織りまぜて次々に披露された。町の給食センターで調理されたイナリ寿しに舌つづみをうちながら、次々とびだす演芸に、この一日をお年寄達は相好をくずして喜び楽しんで時のたつのも忘れ、一日の慰安を満喫し、尽きない興奮と楽しみに名残りを惜しむつづ午後三時すぎ散会しました。
- なお、今年も次の十九組の金婚夫婦に、千葉県知事から童顔鶴髪の色紙が祝われま

- | | | |
|----|-------|----|
| 小堤 | 神保利作 | きく |
| 遠山 | 実川弥三郎 | たけ |
| 牛熊 | 小川儀三郎 | さく |
| | 鈴木一 | あい |

も約五〇％はパンから摂ることになっており、パンは「何とかなって全部食べて欲しい」ということは給食センター運営委員さんを始め給食事業に携わる人達の頭からは一刻も離れない大きな悩みであり、また念願なのであります。少し残パンが多い時等は「パン

- | | |
|-------|----|
| 土屋 章 | とみ |
| 鈴木良吉 | もと |
| 田鍋武夫 | よし |
| 井上平四郎 | しげ |
| 高宮 環 | てる |
| 真行寺幸雄 | みね |
| 齊藤 寛 | くに |
| 若林仙太郎 | かく |
| 伊藤一衛 | さく |
| 伊藤哲太郎 | きよ |
| 伊東哲太郎 | こう |
| 潮来松五郎 | きせ |
| 大木浅吉 | スカ |
| 五木田明 | さた |
| 伊藤文平 | シナ |

米飯給食希望は
四七％
アンケート保護者の場合

食に飽きたのでは？」と考えたりしています、そうした折柄米の豊作、過剰米、と言った問題が出てまいりました。いろいろな会議や寄合の席でも度々「米の給食」ということが話題の中心になってきたのです。学校給食センターではこうした情勢の対策として、第一次は小学校三年以上の学校の子供さん、第二次には各保護者の皆さんにアンケートの御協力をおねがいして見ました。その結果は次の表が示す通りで、米の給食を希望する人は小学生が五四％、中学生は四四％、保護者の方は四七％ということでした。

	小学生	中学生	保護者
ばんでよい	152	150	310
米飯がよい	389	272	551
どちらでもよい	725	195	1,164

この表を基にしまして、去る十月十五日に運営委員会を開催して二時間近く審議致しました。そして「このアンケートの中で』どちらでもよい



自衛官募集

自衛隊では、陸海空自衛官を募集しています。十八才以上二十五才までの日本人男子なら誰でも応募できます。希望する月に入隊でき

詳しいことは役場企画課へご相談下さい。

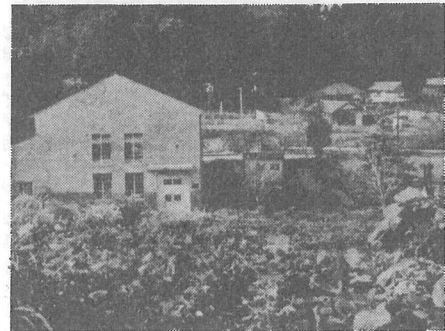
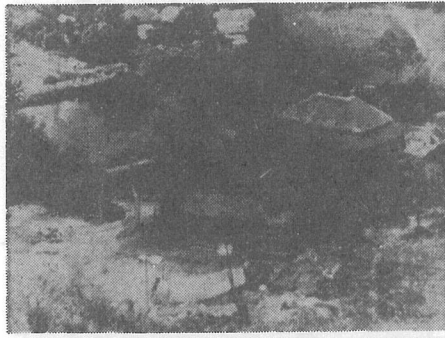
い」という回答をされた人、特に保護者の皆さんの中には、米食に転換した場合の個人又は町が支出しなければならぬ負担金等の多寡によって「いままでどうりでよい」という考えになられる公算も多いので、その負担額等はどの位になるのか、ということも慎重に調べる必要があると思う。それには国や県の補助等交付金の制度等も研究しなくてはならない。すでに九月から実験校として国や県の指導で米飯給食を実施している千鶴町東小学校等を視察した上で充分検討して見よう」という答申をまとめました。

視察の結果等につきまして後日再び広報に掲載等の方法でお知らせしたいと思

十年一昔 (その十)

小堤用水機場境界

両総用水第二機場——小堤の振子坂から二つに岐れた県道の間に抱かれた様に見える揚水機場は、田圃の中を栗山川まで一直線に截って続く導水路と共に近隣町村の学校等から見学に来る程有名です。現在では、海匠、香取、山武、長生等十八市町村、二、七四八、一五町歩耕地の灌漑用水の中心揚水機場として華やかにクローズアップしています。しかし、この事業所建設の陰には附近に点在する和田地区の皆さんが示した大らかな妥協と理解があったことを忘れてはなりません。此の揚水機場の着工は昭和二十六年九



月のことだそうですが、和田地区の或方は「その頃揚水機場の所に和池と呼ぶ農業用の溜池がありました。『それを潰して機場を造りたい、敷地として耕地も提供して欲しい。移転してもらいたい家もある調印を』と言われた時は全く考えに窮しました。敷地の図面から見ますと、二町歩の耕地を持つ人が一町五反も買上げられる、それも賃賃価格の六十倍という安い値段なのです。当時県会議員で戸井田さんという昭和の宗五郎と

言われる人がありまして、九十九里一帯は三年に一度しか米が穫れない、これを教うのは灌漑用水の完備だ」と私財を投げ打って努力されておりましたが、その揚水機場になるといいますから『これは買収される者だけの問題ではない、部落皆で協力しよう、買収された用地の代替を戸毎に提供しよう』ということ等も定めたものです。また、それまでは溜池から引いていた水も使えなくなってしまうので、汲揚ポンプで用水路から取水しなければなりません。交付で不費番をするのですが水の必要なのは田植時ですから昼間も休めません、生身の体には堪えられない辛さです。始めの頃は関係筋に陳情したりしたこともありますが、そのうちにいろいろ心配して下さった工事課長の貝原さんが殉職なされたという不幸な事故が有ったりしまして、それを痛む、という気持ちもあつたのでしようか、何となくそのままになっ

てしまいました。『心筋からの話もありましたが未だに取水時期の不費番は続いています。しかし、戸井田県議さんや、逝くなられた貝原さんのことを想うと九十九里沿岸十八ヶ市町村が潤うための中樞機場となつていて、いうことで満足しているというのでしよう。』と大要をそんな風に話しておられ

ました。着工以来二十年、此の用水によって耕地の反収も年毎に増加していると思えます。過ぎた歳月の悲喜交々を秘めたまま、両総用水大総第二揚水機場は、たまたまの変わり

た小堤和田地区を静かに見つめていようです。(写真、上は二十年前の和田部落、中央稍々上に溜池が見えます、周辺の人家は総て移転してあります。下は現在の揚水機場です。)

公民館だより

○図書貸出し始まる
読書をするのに一番良い季節です。町民の皆様は読書を楽しんで頂くよう、公民館では県立中央図書館から年間千冊に及ぶ図書の配本を受けることになりました。そのうち五百冊が十月十六日配本になり、愛読者への貸出しを始めた。この図書を借りたい方は図書貸出券交付申込書(公民館にあり)で申し込みをし、貸出券の交付を受けて図書を利用して下さい。交付を受けた図書貸出券があれば、何度でも借りられます。貸出し期間の一週間で読み終わらなかつた場合は手続きをして更に延長することもできます。尚、図書利用者が多ければ県立図書館からどしどし新刊書が配本され、また、公民館でも多くの図書を購入することができるようになります。

◎趣味のグループ
会員募集
中央公民館では、公民館活動の一環として、つぎのような趣味のグループの会員を募集します。加入を希望される方は公民館の事務室までお申し込み下さい。

一、読書クラブ
公民館図書の貸出しを開始しましたので、これを契機に読書クラブを作り月一回、読書などを開いて、大いに読書に親しんでいただきたいと考え、読書に興味をお持ちの方の加入をお待ちいたします。

二、写真クラブ
近年カメラの性能の進歩とともに非常にカメラが普及し、各家庭に一台はお持ちになつていくようですが、なかなか良い写真を楽しむことは難しいようです。

そこで、写真クラブをつくりお互いに写真技術を大いに研鑽していただきたいと思ひますので、写真に興味をお持ちの方は是非参加して下さい。

三、音楽同好会
最近ステレオ等音響器具の普及によって、音楽に親しまれる方が非常に多くなつておりますので、音楽愛好者の会をつくり、レコードコンサートや音楽鑑賞会などを開き大いに趣味を深めたいと思ひますので、愛好家の皆様の参加をお願いします。

講座紹介

趣味の園芸教室
講座のトップを切って、去る九月二十五日開講された趣味の園芸教室は、講師にもと旭農校教諭深山隆先生を招き、受講生三十五名が参加、第一回は秋播き草花の栽培、第二回は、秋植球根の繁殖と植付、第三回、庭木、花木の挿木技術、第四回には、庭木、花木の接木技術などの実用的な講義をうけて、各自家庭実習をして楽しんでおります。これから先の学習計画は、菊作りや盆栽仕立て、観葉植物の冬越しの方法などが組まれており、受講生一同張切つて勉強してあります。出席率も毎回八十五パーセントを上廻る好成績です。また、十一月には園芸センターの視察なども計画されているようです。

建設のあゆみ

10月～11月

完成した事業	
① 町営住宅敷地造成工事	1.310㎡
② 県営 "	3.574㎡
③ 立会青年館新築工事	147.1㎡
11月着工及び工事中の事業	
① 横小増築工事	923.2㎡
② 関場青年館新築工事	79.2㎡
③ 上町 "	82.625㎡
④ 消防署分署新築工事	411.968㎡
⑤ 県営住宅新築工事	30戸
⑥ 町営 "	10戸
⑦ 道路改良水路改修工事	
宮前三本松線	474.5 m
⑧ 道路舗装工事	
長倉遠山線(長倉地内)	730 m
東町地内	140 m
県道桜前地先	1,270 m
県道坂田池地先	334 m
県道中合地先	400 m
県道屋形宮前地先	350 m
栗山火の見〜カントリーエレベーター	200 m

タバコの消費税 一千五百万円

町民の皆さんが、町内のタバコ小売店でタバコ一個(二〇本入りタバコの平均)を買ったとすると、専売公社から町に納税されるものとして、松尾、成東と過去二回にわたり実施されて来ましたが、本年は、事務局を横芝町役場産業課内において、この運営に当たることになっておられるようです。

すでに成田周辺には、ニュータウン等の建設なども行われており、これらのお合所を賄うに相応しい野菜産地を確保することを目指して、実施されるものです。

対し、十三円八十七銭の「タバコ消費税」が納入されます。昭和四十四年度には「タバコ消費税」が一千五百九万六千円納入されました。この額は昭和四十四年度町税総額の約十七パーセントを占め町にとっては、大きな財源になっておられます。

愛煙家の皆さん、「タバコ」をお求めになるときは是非町内でお買い下さい。また、旅行や通勤などで遠くへお出かけの時も、できるだけ町内のたばこ店でお求めの上お持ち下さるようお願いいたします。

お買い得品出る

十一月十七日野菜共進会

として進展していくことでしょう。期日、出品資格等については次のとおりです。

主催 横芝町
松尾農業改良普及事業協議会
会場 横芝小学校講堂
出品種類
にんじん、ねぎ、里いも、こんにゃく、大和いも、トマト、キュウリ、白菜、大根、ニラ。
尚、十八日八時から出品された野菜の予約販売も行なう予定です。

加入した方が得 年金の所得比例

国民年金では、所得比例制が十月から実施されました。この制度は、二十五年間納付したものに對し月額八、〇〇〇円を支給していた年金をさらに所得比例分を加えて月額一二、五〇〇円の年金を受けられるようにしたものです。

所得比例制の対象となる人は所得のある被保険者です。

上塚の海保君二位入 賞安全運転競技大会

横芝町役場を会場に、成東署、同署管内交通安全協会主催で、安全運転競技大会が小雨降る十一日、乗用車、小型トラックなど、六十五台が参加、横芝町からも十二台が出場、成東署管内四十数キロのコースで競われた。町出場者のうちから二位に、上塚地宮前海保英之君(役場勤務)と四位には、同地区本郷(同所勤務)の林絃君が入賞した。

午前十時ラリィ車は、第一番目の審査項目である、始業点検を行い、役場前を次々に出発した。採点は減点法により行なわれ、各自に二百十二点が与えられ、コースの重要地点では協会の役員が目をはかり通行するラリィ車の採点を行っていた。

所得のないもの、保険料の免除を受けている人は加入できません。所得比例制の保険料は三五〇円で、定額分(四五〇円)と合わせて一ヶ月八〇〇円となります。

この制度に加入した場合、納付期間が二十五年で定額分(八、〇〇〇円)と合わせて月額一二、五〇〇円、四十年で定額分(一二、八〇〇円)と合わせて月額二〇、〇〇〇円の年金が受けられます。

ですから、夫婦で国民年金に加入し、夫が所得比例制に加入していると夫婦で月額二万円(二十五納付)の年金が受けられます。

この制度は、保険料を納付しなければ、所得比例制の資格が自動的になくなり、納め忘れのないようにしてください。なお、来年一月からの農業者年金の加入者は、国民年金の所得比例制にも加入しなければならぬことになっていきます。

老後の備えは、多いにこうしたことはありません。より多い年金を確保するため、この所得比例制への加入をおすすめします。

横芝俳壇

横芝句会
九月例会作品抄

秋霖は鉄灯籠の錆に沁む
土屋 栗水

すいっとの点や音して灯の襖
石川 奇水

秋の喜雨老いの鉄取る午後の
齊藤 ちくろ

晴れ
川島 啓明

寄せ書きの既に亡き名や秋の
玉虫 たけし

虫籠を下げ日履の農夫来る
宇都木吐句志

虫の声びゆるや楽語あること
齊藤得志郎

黄昏や綿糸の如き雲の峰

虫かこの尻尾する風のあり
若梅あやめ

娘の縁談まとまりかけしあかね雲
田島 千女

月まつる芒に夕波たたくる
藤代 ゆう

吟詠のはばかりなしやきょうの月
高埜 孝子

物静か素肌に感ずる秋の雨
渡辺きよ子

笛の音も添えてほしいや十六夜
齊藤 幸子

フェリーの行く手に浮ぶ雲の峰
犬吠呷の中秋
土屋 栗水

磯へ降りる経らし薄分けてあり
月の波浴衣の裾をしめらする
月を待つ静寂や砂を踏む音も
汐風に瘦せし鳥井や月の浜
潮騒の草に音を張るざりざりす